

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編31 あさまし

年 組 氏名

あさまし	① 驚く (意外なことに驚く)
	② あきれる (興ざめた なさけない 嘆かわしい)
	③ 話にならない (ひどい)
	④ あきれるほどの様子だ

【解説】

- ・「予想外なことに驚く」と理解しておく、応用がききます。
- ・期待に反する結果に落胆する意味に使われることが多い言葉です。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「朝、マシにならない寝癖に、驚きあきれる。」

<p>3</p> <p>むく犬で毛が抜けたのを「人に」引かせて</p> <p>「徒然草」</p>	<p>《現》</p> <p>3</p> <p>むく犬のあさましく老いさらばえて毛はげたるを引かせて</p> <p>「徒然草」</p>	<p>2</p> <p>もののあはれも知らずなりゆくなんあさましき。</p> <p>「徒然草」</p>	<p>1</p> <p>このように、() 作りごとであつたのだから、すぐにお返しください。</p> <p>「竹取物語」</p>	<p>【問題】</p> <p>「あさまし」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。</p> <p>《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p> <p>かくあさましきそらごとによりければ、はやとく返し給へ。</p> <p>「竹取物語」</p>
--	--	---	--	---

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編31 あさまし

年 組 氏名

あさまし	① 驚く (意外なことに驚く)
	② あきれる (興ざめだ なさけない 嘆かわしい)
	③ 話にならない (ひどい)
	④ あきれるほどの様子だ

【解説】

- ・「予想外なことに驚く」と理解しておく、応用がききます。
- ・期待に反する結果に落胆する意味に使われることが多い言葉です。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「朝、マシにならない寝癖に、驚きあきれる。」

【解答】

1 かくあさましきそらごとによりければ、
はやとく返し給へ。

「竹取物語」

このように、(驚きあきれる)
作りごとであつたのだから、
すぐにお返しください。

2 もののあはれも知らずなりゆくなん
あさましき。

「徒然草」

もののは情趣もわからないようになって
いものは嘆かわしいことだなあ。

3 おく犬のあさましく老いさらばえて
毛はげたるを引かせて

「徒然草」

むく犬で(ひどく)年老いて、
毛が抜けたのを「人に」引かせて

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編32 いかで

年 組 氏名

いかで	① [疑問] どうして
	② [反語] どうして…か、いや…でない。
	③ [強い願望] なんとかして

【解説】

- ・基本的には「どうして」という疑問で使われる言葉ですが、「ばや」「てしがな」「む」「じ」などの言葉があとに使われる場合、「なんとかして」という強い願望をあらわします。
- ・前後の文章をよく読んで、意味を考えましょう。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「イカで、どうして、いけないの？なんとかして、食べようよ。」

<p>3</p> <p>いかで月を見ではあらむ。</p> <p>《現》</p> <p>「竹取物語」</p>	<p>2</p> <p>いかで情けなく幼きものをかくはするぞ</p> <p>（このようにするの）情け容赦なく幼いものを</p> <p>「宇治拾遺物語」</p>	<p>1</p> <p>いかでこのかぐや姫を得てしがな</p> <p>得たいものだ</p> <p>（このかぐや姫を</p> <p>「竹取物語」</p>	<p>【問題】</p> <p>「いかで」の意味を参考に、（ ）にあてはまる言葉を答えなさい。</p> <p>《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
---	---	---	--

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編32 いかで

年 組 氏名

いかで	① [疑問] どうして
	② [反語] どうして…か、いや…でない。
	③ [強い願望] なんとかして

【解説】

- ・基本的には「どうして」という疑問で使われる言葉ですが、「ばや」「てしがな」「む」「じ」などの言葉があとに使われる場合、「なんとかして」という強い願望をあらわします。
- ・前後の文章をよく読んで、意味を考えましょう。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「イカで、どうして、いけないの？なんとかして、食べようよ。」

【解答】

1 いかでこのかぐや姫を得てしがな

「竹取物語」

得た（どうにかして）このかぐや姫を

2 いかで情けなく幼きものを

「宇治拾遺物語」

かくはするぞ
（どういうわけか）情け容赦なく幼いものを

3 いかで月を見ではあらむ。

「竹取物語」

どうして月を見ないで、いられようか。いや、いられない。

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編33
おぼつかなし

年 組 氏名

おぼつかなし	① はっきりわからない (ぼんやりしている)
	② 気がかりだ (不安だ 心配だ 心細い)
	③ 待ち遠しい
	④ 疑わしい (不審だ)

【解説】

- ・対象がぼやけていて、はっきりつかめない状態をさします。
- ・また、そのような状態からくる、不安や気がかりな感情をあらわします。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「おお、没[ボツ]かな。はっきりしない。」

<p>3 道風書かんこと、時代や違ひ侍らん。 おぼつかなくこそ 〔徒然草〕</p> <p>小野道風が書くようなことは、時代が 食い違っていきましようか。 そこが() ごぎいます。</p>	<p>2 若宮のいとおぼつかなく 〔源氏物語〕</p> <p>《現》</p>	<p>1 夕月夜のおぼつかなきほどに、 忍びて尋ねおはしたるに 〔徒然草〕</p> <p>夕方の月が() 人目を避けて訪ねていらつしやつたところ ()頃に</p>	<p>【問題】 「おぼつかなし」の意味を参考に、()に あてはまる言葉を答えなさい。 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
--	--	---	--

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編33
おぼつかなし

年 組 氏名

おぼつかなし	① はっきりわからない (ぼんやりしている)
	② 気がかりだ (不安だ 心配だ 心細い)
	③ 待ち遠しい
	④ 疑わしい (不審だ)

【解説】

- ・対象がぼやけていて、はっきりつかめない状態をさします。
- ・また、そのような状態からくる、不安や気がかりな感情をあらわします。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「おお、没[ボツ]かな。はっきりしない。」

【解答】

1 夕月夜のおぼつかなきほどに、
忍びて尋ねおはしたるに、

「徒然草」

夕方の月が(ぼんやりして)いる頃、
人目を避けて訪ねていらつしたところ

2 若宮のいとおぼつかなく

「源氏物語」

若宮が本当に気がかりで

3 道風書かんこと、時代や違ひ侍らん。

「徒然草」

小野道風が書くようなことは、時代が
食い違つていましうか。時代が
そこが(疑わしゆう)ございます。

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編34
 ころにくし

年 組 氏名

ころにくし

奥ゆかしい (心ひかれる 優れている 上品だ)

【解説】

- ・「ねたましく感じるほどに相手が優れている (うらやましい) 様子」というのが、もともとの意味です。
 相手の心配りを褒める言葉であって、本当に憎んでいるわけではありません。
- ・ただし、中世以降は「おそろしい」、近世以降は「怪しい」の意味で使われることがあります。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「心憎いほど、奥ゆかしい人」

【問題】

「ころにくし」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。

1 かはむしの心ふかきまじたるこそ、
 ころにくしにくれとて、明け暮れは耳はさみをして
 手のうらにそへふせてまぼり給ふ。
 「堤中納言物語」

〔姫は〕毛虫の思慮深い様子をして、
 朝夕髪を耳にはさんで
 手のひらにうつつぶせにして
 見つめていらつしやる。

2 ころにくし限りの女房、四、五人
 さぶらはせ給ひて

「源氏物語」

〔天皇は〕
 おそばにお置きになつて
 女官だけを四、五人

3 定めて討ち手向けられ候はんずらん。
 ころにくしうも候はず。

「平家物語」

きつと討ち手の兵をお寄越しになるでしよう。
 しかし()ほどではございません。

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編34
 ころにくし

年 組 氏名

ころにくし

奥ゆかしい (心ひかれる 優れている 上品だ)

【解説】

- ・「ねたましいほど相手が優れている (うらやましい) 様子」というのが、もとの意味です。
- ・相手の心配りを褒める言葉であって、本当に憎んでいるわけではありません。
- ・ただし、中世以降は「おそろしい」、近世以降は「怪しい」の意味で使われることがあります。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「心憎いほど、奥ゆかしい人」

【解答】

1

かはおしの心ふかきさましたるこそ、
 こころにくけれとて、明け暮れは耳はさみをして、
 手のうらにそへふせてまぼり給ふ。
 「堤中納言物語」

〔奥ゆか〕毛虫の思慮深い様子をしていのが、
 手(奥ゆかし)ひら(い)と(い)つ(ぶ)せ(に)して見(つ)め(て)い(ら)っ(し)や(る)。

2

こころにくき限りの女房、四、五人
 さぶらはせ給ひて

「源氏物語」

〔天皇は〕(奥ゆかしい)女官だけを四、五人
 おそばに(お)置(き)に(な)つ(て)

3

定めて討ち手向けられ候はんずらん。
 こころにくくうも候はず。

「平家物語」

きつと(討ち)手(の)兵(を)お(寄)越(し)に(な)る(で)し(よ)う。
 しかし(恐)れる(兵)ほど(で)は(ご)ざ(い)ま(せ)ん。

〔古文シリーズ 2ndステップ 中級〕 ことば編35 すさまじ

年 組 氏名

すさまじ	① 興ざめだ (つまらない ふさわしくない)
	② さむざむとしている (荒涼としている 殺風景だ)
	③ 程度がはなはだしい (ひどい)
	④ あきれたことだ (とんでもない)

【解説】

- ・「すさまじ」の「さま」は、「冷め・寒」と同じ語源で『ぞっとする』感じを意味します。
- ・心がしらけてぞっとすると「興ざめだ・つまらない」

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「ス-さんまじめで、興ざめだ。」

3

山里の風すさまじき 夕暮れは
木の葉乱れて ものぞ悲しき

〔新古今和歌集〕

山里の風が乱れ飛んで、もの悲しいことだよ

2

風吹き、雨降りて、すさまじかりけるに、
大路に『諸行無常』と詠じて過ぐる者あり…

〔宇治拾遺物語〕

風が吹き、雨が降って、
〔と〕していた時に
『諸行無常』と唱えて通りすぎる者がいた…

1

すさまじきもの。昼はほゆる犬…

〔枕草子〕

《現》

〔問題〕
「すさまじ」の意味を参考に、() に
あてはまる言葉を答えなさい。
《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。

〔古文シリーズ 2ndステップ 中級〕 ことば編35 すさまじ

年 組 氏名

すさまじ	① 興ざめた (つまらない ふさわしくない)
	② さむざむとしている (荒涼としている 殺風景だ)
	③ 程度がはなはだしい (ひどい)
	④ あきれたことだ (とんでもない)

【解説】

- ・「すさまじ」の「さま」は、「冷め・寒」と同じ語源で『ぞっとする』感じを意味します。
- ・心がしらけてぞっとすると「興ざめた・つまらない」
- ・ぞっとするような景色は「殺風景だ」というように訳します。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「ス-さんまじめで、**興ざめた**。」

【解答】

1 すさまじきもの。昼はほゆる犬…

〔枕草子〕

興ざめたもの。昼ほえる犬…

2

風吹き、雨降りて、すさまじかりけるに、
大路に『諸行無常』と詠じて過ぐる者あり…

〔宇治拾遺物語〕

風が吹き、雨が降って、
（さむざむ）としていた時に
『諸行無常』と唱えて通りすぎる者がいた…

3

山里の風すさまじき夕暮れは
木の葉乱れてものぞ悲しき

〔新古今和歌集〕

山里の風が（はなはだしい）夕暮れは
木の葉が乱れ飛んで、もの悲しいことだよ

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

〔古文シリーズ 2ndステップ 中級〕 ことば編36 にくし

年 組 氏名

にくし	① いやだ (気に入らない 不快だ)
	② 見苦しい (醜い)
	③ 無愛想だ

【解説】

- ・基本的には、マイナスの意味に訳する言葉です。
- ・ただ、「にくし」の上に「心」がつく場合は、「こころにくし」となり、いい意味の訳し方をするようになります。(シート34を見直しましょう)

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「にくしみ持つのは、いやだ、見苦しい。」

<p>3</p> <p>男君も、() にここにこしているが…</p> <p>()ではなく、</p> <p>「枕草子」</p>	<p>2</p> <p>年をとり、容姿も() 羽振りがよくない。</p> <p>()、</p> <p>「宇津保物語」</p>	<p>1</p> <p>長言するまらうど。 にくきもの。急ぐことある折にきて</p> <p>「枕草子」</p>	<p>【問題】</p> <p>「にくし」の意味を参考に、() に あてはまる言葉を答えなさい。</p>
--	--	---	--

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編36 にくし

年 組 氏名

にくし	① いやだ（気に入らない 不快だ）
	② 見苦しい（醜い）
	③ 無愛想だ

【解説】

- ・基本的には、マイナスの意味に訳する言葉です。
- ・ただ、「にくし」の上に「心」がつく場合は、「こころにくし」となり、いい意味の訳し方をするようになります。（シート34を見直しましょう）

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「にくしみを持つのは、いやだ、見苦しい。」

【解答】

1
にくきもの。急ぐことある折にきて
長言するまらうど。

「枕草子」

（嫌な）もの。急いでいる時にきて、
長話をする客。

2
年老い、かたちもにくく、時なし。

「宇津保物語」

年をとり、容姿も（見苦しく）、
羽振りがよくない。

3
をとこ君も、にくからず、
うち笑みたるに…

「枕草子」

男君も、（無愛想）ではなく、
にこにこしているが…

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編37 むげ

年 組 氏名

むげ	① ひどい
	② ひどく身分が低いこと
	③ 程度がはなはだしい様子
	④ まったく(当然)

【解説】

- ・漢字では「無下」と書き、「これ以下は無い」ことをさすのがもとの意味です。
- ・「無下」の対義語は「無上[むじょう]」つまり、最高という意味です。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「無芸[むげい]な芸人、ひどいネタ。」

<p>3</p> <p>…など言ひけるは むげのことなり 〔徒然草〕</p> <p>…ということと言ったのは ことである。</p>	<p>2</p> <p>むげの民と争ひて、 君の滅びるためし… 〔増鏡〕</p> <p>帝が滅びなされた例は… の低い人民と争って</p>	<p>1</p> <p>むげのことをも 仰せらるるものかな。 〔徒然草〕</p> <p>おっしやるものだなあ。 ことを</p>	<p>【問題】</p> <p>「むげ」の意味を参考に、()に あてはまる言葉を答えなさい。</p>
---	---	---	--

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編37 むげ

年 組 氏名

むげ	① ひどい
	② ひどく身分が低いこと
	③ 程度がはなはだしい様子
	④ まったく（当然）

【解説】

- ・漢字では「無下」と書き、「これ以下は無い」ことをさすのがもともとの意味です。
 - ・「無下」の対義語は「無上[むじょう]」つまり、最高という意味です。
- <楽しみながら覚えよう!>
- ・「無芸[むげい]な芸人、ひどいネタ。」

【解答】

1 おむげのことをも
仰せらるるものかな。

「徒然草」

（ひどい）ことを
おっしやるものだなあ。

2 おむげの民と争ひて、
君の滅びるためし：

「増鏡」

（身分）の低い人民と争って
帝が滅びなされた例は：

3 ……など言ひけるは おむげのことなり

「徒然草」

（ひどい）ことを言ったのは
（ひどい）ことである。

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編38 やさし

年 組 氏名

やさし	① 優美である（上品である）
	② つらい（たえがたい）
	③ 恥ずかしい（きまりが悪い 肩身がせまい）
	④ けなげである（感心だ 殊勝だ）

【解説】

- ・「やさし」は、動詞「やす（瘦せる意味）」が形容詞に変化してできた言葉です。
- ・「（身もやせ細るほど）②つらい」、がもともとの意味。
- ・発展して「（見ている自分がつらくなるほど）①優美である④けなげである」とも訳します。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「やさしくされたら、つらいのよ。/やさしく優美、感心だ。」

3	2	1	【問題】
身分の高い人はやはり（ ） ことよ。	昨日今日帝のたまはむことに つかむ、人聞きやさし… 「竹取物語」	世の中を憂しとやさしと思へども 飛び立ちかねつ鳥にしあらねば 「万葉集」	「問題」 「やさし」の意味を参考に、（ ）に あてはまる言葉を答えなさい。 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。
上臈はなほもやさしかりけり 「平家物語」			
	昨日今日になつて帝のおつしやることに 従うとすれば、人からの評判が（ ）		

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編38 やさし

年 組 氏名

やさし	① 優美である（上品である）
	② つらい（たえがたい）
	③ 恥ずかしい（きまりが悪い 肩身がせまい）
	④ けなげである（感心だ 殊勝だ）

【解説】

- ・「やさし」は、動詞「やす（瘦せる意味）」が形容詞に変化してできた言葉です。
 - ・「（身もやせ細るほど）②つらい」、がもともとの意味。
 - ・発展して「（見ている自分がつらくなるほど）①優美である④けなげである」とも訳します。
- <楽しみながら覚えよう!>
- ・「やさしくされたら、つらいのよ。/やさしく優美、感心だ。」

【解答】

- 1 世の中を憂しとやさしと思へども
飛び立ちかねつ鳥にしあらねば
〔万葉集〕
- 2 昨日今日帝のたまはむことに
つかむ、人聞きやさし：
〔竹取物語〕
- 3 上臆はなほもやさしかりけり
〔平家物語〕
- 身分の高い人はやはり（優美である）
ことよ。
- 昨日今日になって帝のおっしゃること
従うとすれば、人からの評判が（恥ずかしい）

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

〔古文シリーズ 2ndステップ 中級〕 ことば編39 ゆかし

年 組 氏名

ゆかし	① ~したい (行きたい 見たい 知りたい 読みたい)
	② なんとなく慕わしい 懐かしい

【解説】

- ・「行 [ゆ] きたし」という言葉がつづまったものです。
- ・何かに心がひきつけられて、進んでいく思いです。
- ・前後の文章の内容から考えて、訳していきましょう。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「ゆか、知りたい、見たい、聞きたい、行きたい。」

【問題】

「ゆかし」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。

1

山路来て 何やらゆかし すみれ草

〔野ざらし紀行〕

山道をきて、ふと気づくとスマレの花が咲いている。
 なんだか()ことだよ。

2

ねびゆかおさま、ゆかしき人かなと、
 目とまり給ふ。

〔源氏物語〕

大人になっていく姿を、()
 〔光源氏は若紫を〕目にとめなさる。

〔人だなど〕

3

いみじく心もなく、ゆかしくおぼゆるままに
 この源氏の物語、一の巻よりして
 皆見せ給へと、心のうちに祈る

〔更級日記〕

ひどくじれたく、()の巻から
 この源氏物語を、一の巻の中で祈る。
 皆お見せくださいと、心の中を祈る。
 ()と思われるので、

[古文シリーズ 2ndステップ 中級] ことば編39 ゆかし

年 組 氏名

ゆかし	① ~したい (行きたい 見たい 知りたい 読みたい)
	② なんとなく慕わしい 懐かしい

【解説】

- ・「行 [ゆ] きたし」という言葉がつづまったものです。
- ・何かに心がひきつけられて、進んでいく思いです。
- ・前後の文章の内容から考えて、訳していきましょう。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「ゆか、知りたい、見たい、聞きたい、行きたい。」

【解答】

1 山路来て 何やらゆかし すみれ草 「野ざらし紀行」

山道をきて、ふと気づくとスマレの花が咲いている。
 なんだか（慕わしい）ことだよ。

2 ねびゆかおさま、ゆかしき人かなと、
 目とまり給ふ。 「源氏物語」

大人になっていく姿を、（見たい）人だなと
 「光源氏は若紫を」目にとめなさる。

3 いみじくも、ゆかしくおぼゆるままに
 この源氏の物語、一の巻よりして
 皆見せ給へと、心のうちに祈る 「更級日記」

ひどくじれったく、（読みたい）と思われるので、
 この源氏物語を、一の巻から
 皆お見せくださいと、心の中で祈る。

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

〔古文シリーズ 2ndステップ 中級〕 ことば編40 わびし

年 組 氏名

わびし	① 苦しい (つらい 寂しい)
	② 難儀だ (うんざりする)
	③ 貧しい (みすぼらしい)
	④ おもしろくない (興ざめた)

【解説】

- ・漢字では「我非し」と書きます。本来の自分を見失った状態を意味します。
- ・思うように物事がはかどらず、つらくてやりきれない場面に使う言葉です。
- ・現代語の「おわびする」と間違えないようにしましょう。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「わ、びしびしたたかれた！苦しい…。」

<p>3</p> <p>あきましましげなる犬の わびしげなるが、わななきありけば、 「枕草子」</p> <p>あきれるほどひどい感じの犬で、 （ ）そうなのが、 ふるえながら歩きまわるので、</p>	<p>2</p> <p>山里は 秋こそことに わびしけれ 鹿の鳴く音に 目をさましつ 「古今和歌集」</p> <p>≪現≫</p>	<p>1</p> <p>あなわびしと思ひて 「宇治拾遺物語」</p> <p>ああ、（ ）と思つて。</p>	<p>【問題】</p> <p>「わびし」の意味を参考に、（ ）に あてはまる言葉を答えなさい。 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
---	---	---	--

〔古文シリーズ 2ndステップ 中級〕 ことば編40 わびし

年 組 氏名

わびし	① 苦しい (つらい 寂しい)
	② 難儀だ (うんざりする)
	③ 貧しい (みすぼらしい)
	④ おもしろくない (興ざめた)

【解説】

- ・漢字では「我非し」と書きます。本来の自分を見失った状態を意味します。
- ・思うように物事がはかどらず、つらくてやりきれない場面に使う言葉です。
- ・現代語の「おわびする」と間違えないようにしましょう。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「わ、びしびしたたかれた！苦しい…。」

【解答】

1 あなわびしと思ひて

〔宇治拾遺物語〕

ああ、(苦しい)と思つて。

2

山里は 秋こそことに わびしけれ
鹿の鳴く音に 目をさましつ

〔古今和歌集〕

山里は秋が特にも 悲しい
鹿の鳴く声に しばしば目をさまして

3

あさましげなるが、犬の
わびしげなるが、わななきありけば、

〔枕草子〕

あきれほどひどい感じの犬で
（みすぼらしい）
ふるえながら歩きまわるので、

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編41 いとほし

年 組 氏名

いとほし

かわいそうだ (気の毒だ ふびんだ 見ていてつらい)

【解説】

- ・現代語の「いとおいしい」は、②の意味で使われることが多いのですが、古典ではほとんど①の意味で使われます。
- ・「かわいそうだ」「気の毒だ」がもともとの意味ですが、弱い者や幼い者に対して「いじらしい」「かわいい」と感じる意味で使われるようになったのです。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「糸欲し[いとほし]がってる、かわいそう。」

【問題】

《現》 「いとほし」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。

1 熊谷あまりにいとほしくて、いづくに刀をたつべしともおぼえず。

〔平家物語〕

熊谷は「首をとろうとした敦盛が」あまりに「かわいそう」で、どこに刀をあてるのがよいともわからない。

2 いとほしとは おぼしたり

〔源氏物語〕

()とお思いになった。

3 翁を、いとほし、かなしとおぼしつることも失せぬ。

〔竹取物語〕

《現》

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編41 いとほし

年 組 氏名

いとほし

かわいそうだ (気の毒だ ふびんだ 見ていてつらい)

【解説】

- ・現代語の「いとおいしい」は、②の意味で使われることが多いのですが、古典ではほとんど①の意味で使われます。
- ・「かわいそうだ」「気の毒だ」がもともとの意味ですが、弱い者や幼い者に対して「いじらしい」「かわいい」と感じる意味で使われるようになったのです。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「糸欲し[いとほし]がってる、かわいそう。」

【解答】

1 熊谷あまりにいとほしくて、いづくに刀をたつべしともおぼえず。

「平家物語」

熊谷は「首をとろうとした敦盛が」
あまりにも（かわいそうでした）
どこに刀をあてるのがよいともわからない。

2 いとほしとは おぼしたり

「源氏物語」

（かわいそうだ）とお思ひになった。

3 翁を、いとほし、かなしとおぼしつることも失せぬ。

「竹取物語」

竹取の翁をかわいそうだ気の毒だとお思ひになる気持ちもなくなつてしまった。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編42
いふかひなし

年 組 氏名

いふかひなし	① 言いようもない (いってもかいがない)
	② 情けない (ふがいない つまらない)
	<いふかたなし>…言うべき方法がない。言いようがない。

【解説】

- ・なんとも説明できない事態に直面して、口では言い表せない気持ちをこめて用いる言葉です。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「ゆうか」いなければ、つまらない。」

3	2	1	【問題】
女、親なくたよりなくなるまに、 もろともには、いふかひなくて あらむやはとて。 〔伊勢物語〕	かかることは、いふかひなき者の きはにやと思へど、 〔枕草子〕	聞きしよりもまして、いふかひなくぞ こぼれ破れたる。 〔土佐日記〕	「いふかひなし」の意味を参考に、() に あてはまる言葉を答えなさい。
女が、親が亡くなり頼りとするものが なくなるに、つれづれ、() 暮らしをしていられようかと思つて。 ()	こうした「不作法な」ことは、 () 身分の者の 行為であろうかと思ふけれど、	() 聞いていたよりも一段と () 壊れ傷んでいる。	

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編42
いふかひなし

年 組 氏名

いふかひなし	① 言いようもない (いってもかいがない)
	② 情けない (ふがない つまらない)
	<いふかたなし>…言うべき方法がない。言いようがない。

【解説】

- ・なんとも説明できない事態に直面して、口では言い表せない気持ちをこめて用いる言葉です。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「優香[ゆうか]いなければ、つまらない。」

【解答】

1 聞きしよりもまして、いふかひなくぞ
こぼれ破れたる。
〔土佐日記〕

（聞いていたよりも一段と
（言いようがなく）壊れ傷んでいる。

2 かかることは、いふかひなき者の
きはにやと思へど、
〔枕草子〕

こうした「不作法な」ことは、
（とるに足らない）身分の者の
行為であるうかと思うけれど、

3 女、親なくたよりなくなるまに、
もろともには、いふかひなくて
あらむやはとて。
〔伊勢物語〕

女が、親が亡くなり頼りとするものが
なくなるにつれ、（情けない）
暮らしをしていられようかと思つて。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編43 おぼゆ

年 組 氏名

おぼゆ	① 思われる (感じる)
	② 似る (面影がある)
	③ 記憶する。心にとどめる。
	<おぼえ>・・・評判 世間からの信頼

【解説】

- ・現在では「記憶する」と「寒さを覚える」の意味が残っています。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「応募[おうぼ]ゆえと思われる。」

【問題】

「おぼゆ」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。
 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。

1 昔のこと思ひ出づれど、さらにおぼゆることなく
 「源氏物語」

《現》

2 尼君の見上げたるに、少しおぼえたるところあれば
 「源氏物語」

尼君が「少女を」見上げている顔に、
 少し()とところがあるので

3 この世の中に恥づかしきものとおぼえ給へる
 弁の少将の君。
 「落窪物語」

この世間でこちらが恥づかしくなるほど
 いらっぱな人だと()
 いらっしやる弁の少将の君。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編43 おぼゆ

年 組 氏名

おぼゆ	① 思われる（感じる）
	② 似る（面影がある）
	③ 記憶する。心にとどめる。
	<おぼえ>・・・評判 世間からの信頼

【解説】

・現在では「記憶する」と「寒さを覚える」の意味が残っています。

<楽しみながら覚えよう!>

・「応募[おうぼ]ゆえと思われる。」

【解答】

1 昔のこと思ひ出づれど、さらにおぼゆることなく

「源氏物語」

昔のことを思い出そうとするが、いっこうに
思い出されることはなく

2 尼君の見上げたるに、少しおぼえたるどころあれば

「源氏物語」

尼君が「少女を」見上げている顔に、
少し（似ている）ところがあるの

3 この世の中に恥づかしきものとおぼえ給へる

弁の少将の君。

「落窪物語」

この世間でこちらが恥づかしくなるほど
いらっぱな人だと（思われて）
いらっぱな君の少将の君。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編44 かぎろひ

年 組 氏名

かぎろひ	① あげぼのの光
	② かげろう

【解説】

- ・漢字では「陽炎」と書きます。
- ・「かぎろひ」は、春にたつことから、「春」に、またその様子から「心燃ゆ」にかかる枕詞にもなっています。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「真っ赤[まっか]ぎろぎろ、日[ひ]が見える。あげぼのだ。」

<p>2</p> <p>埴生坂「はにゆうざか」 わが立ち見ればかぎろひの 燃ゆる家群「いえむら」 妻が家のあたり</p> <p>〔古事記〕</p>	<p>1</p> <p>東の野にかぎろひの立つ見えて かへり見すれば月かたぶきぬ</p> <p>〔万葉集〕</p>	<p>〔問題〕</p> <p>「おぼゆ」の意味を参考に、()に あてはまる言葉を答えなさい。 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
<p>(埴生坂に立って見ると、 妻の家のあたりだ。燃える家々が見える。)</p>		

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編44 かぎろひ

年 組 氏名

かぎろひ	① あげぼのの光
	② かげろう

【解説】

- ・漢字では「陽炎」と書きます。
- ・「かぎろひ」は、春にたつことから、「春」に、またその様子から「心燃ゆ」にかかる枕詞にもなっています。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「真っ赤「まっか」ぎろぎろ、日[ひ]が見える。あげぼのだ。」

【解答】

（埴生坂に立つて見ると、
かげろひの家のあたりだ。
妻の家のあたりだ。家々が見える。）

2
埴生坂「はにゆうざか」
わが立ち見ればかぎろひの
燃ゆる家の群「いゑむら」
妻が家のあたり
「古事記」

東の野に暁の光が
出るのが見えて、
月が「西の山の端に」傾いて見ると

1
東の野にかぎろひの
かへり見すればひの月かたぶきぬ
「万葉集」

〔古文シリーズ 2ndステップ 上級〕 ことば編45
かたじけなし

年 組 氏名

かたじけなし	① おそれおおい
	② 恥ずかしい（面目ない）
	③ ありがたい
	④ もったいない

【解説】

- ・時代劇などで「かたじけない」と言うと、「もったいないほどの恩義だ、身にしみてありがたい」という意味ですね。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「かたひじはって、けなしてばかり、おそれおおい、恥ずかしい。」

<p>3 天の下の百姓の思へらまくも恥づかし、 かたじけなし。 〔続日本紀〕</p> <p>天下の人民が思っているであることも 恥づかしいし、（ ）。</p>	<p>2 身に余るまでの御心ざしの、 よろづに、かたじけなきに、 〔源氏物語〕</p> <p>自分には分が過ぎるほどのお気持ち すべてには分が過ぎて（ ）ので</p>	<p>1 かたじけなく、きたなげなる所に、 〔竹取物語〕</p> <p>《現》</p>	<p>【問題】 「かたじけなし」の意味を参考に、（ ）に あてはまる言葉を答えなさい。 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
---	---	---	--

〔古文シリーズ 2ndステップ 上級〕 ことば編45
かたじけなし

年 組 氏名

かたじけなし	① おそれおおい
	② 恥ずかしい（面目ない）
	③ ありがたい
	④ もったいない

【解説】

- ・時代劇などで「かたじけない」と言うと、「もったいないほどの恩義だ、身にしみてありがたい」という意味ですね。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「かたひじはって、けなしてばかり、おそれおおい、恥ずかしい。」」

【解答】

1 かたじけなく、きたなげなる所に、
〔竹取物語〕

もったいなくも、むさくるしい所に

2 身に余るまでの御心ざしの、
よろづに、もったいなきに、
〔源氏物語〕

自分には分が過ぎるほどのお気持ち
すべてにはつけて（もったいない）ので

3 天の下の百姓の思へらまくも恥づかし、
かたじけなし。
〔続日本紀〕

天下の人民が思っているであることも
恥ずかしいし、（面目ない）。

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

〔古文シリーズ 2ndステップ 上級〕 ことば編46
 ころもとなし

年 組 氏名

ころもとなし	① はっきりしない (ぼんやりする)
	② 不安だ (気がかりだ)
	③ 待ち遠しい

【解説】

・もともとは「心許なし」と書き、心の落ち付くところがない」という意味です。
 ・心がふらふらして「①はっきりしない」状態であるところにもって、
 マイナスの読み方が「②不安だ」プラスの読み方が「③待ち遠しい」となります。

<楽しみながら覚えよう!>

・「心もつとないとはっきりしない」

【問題】

「ころもとなし」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。

1 かくたく封じたる続飯(そくひり飯粒を練って作ったノリ)など
 あくるほど、いとこころもとなし。

〔枕草子〕

「恋人からの手紙の」
 固く糊付けして封をして開ける間は
 とても()

〔栄花物語〕

2 よろづいみじうおぼつかなく
 こころもとなうおぼされて。

何事もひどく心細く()
 思わずにはいられなくて。

3 見れば、花びらのはしに、
 こころもとなうつきためれ。
をかしき匂ひこそ

〔枕草子〕

(はつきりしない)ぐらいついては、
 見ると、花びらのはしに、
 趣深い色艶がうだ。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編46
 ころもとなし

年 組 氏名

ころもとなし	① はっきりしない (ぼんやりする)
	② 不安だ (気がかりだ)
	③ 待ち遠しい

【解説】

- ・もともとは「心許なし」と書き、心の落ち付くところがない」という意味です。
- ・心がふらふらして「①はっきりしない」状態であるところにもって、マイナスの読み方が「②不安だ」プラスの読み方が「③待ち遠しい」となります。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「心もつとないとはっきりしない」

【解答】

1 かたく封じたる続飯などあくるほど、
いとこころもとなし。

「枕草子」

「恋人からの手紙の」
固く糊付けして封をして
いても(待ち遠しい)。
いるのを開ける間は

2 よろづいみじうおぼつか
なうこころもとなう
おぼされて。

「栄花物語」

何事もひどく心細く(不安)に
思わずにはいられなくて。

3 見れば、花びらのはしに、
をかしき匂ひこそ
こころもとなうつきためれ。

「枕草子」

(はつきりしない)ぐら
いに、趣深い色艶が
ようだ。

〔古文シリーズ 2ndステップ 上級〕 ことば編47
つきづきし

年 組 氏名

つきづきし 似つかわしい (ふさわしい)

【解説】

- ・「つきづきし」は、漢字では「付き付きし」と書きます。
- ・ぴったりとくっ付き合うことで、調和のとれていることをいいます。

〈楽しみながら覚えよう!〉

- ・「月々し払う、ふさわしい給料」

【問題】

「つきづきし」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。

1
いと寒きに、火など急ぎおこして、炭もてわたるも、いとつきづきし。

〔枕草子〕

《現》

2
家居の、つきづきしく、あらまほしきこそ、仮のやどりとは思へど、興あるものなれ。

〔徒然草〕

住まいが「住む人に」(世に)おける一時の理想なのは、住まいのすざないといふ趣深いものである。

、

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編47
つきづきし

年 組 氏名

つきづきし 似つかわしい（ふさわしい）

【解説】

- ・「つきづきし」は、漢字では「付き付きし」と書きます。
- ・ぴったりとくっ付き合うことで、調和のとれていることをいいます。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「月々し払う、ふさわしい給料」

【解答】

1
いと寒きに、火など急ぎおこして、
炭もつきづきし。

「枕草子」

たいそう寒い朝に、火などを急いでおこして
炭を運んでいくのも、
たいそう似つかわしい。

2

家居の、つきづきしく、
あらまほしきこそ、仮のやどりとは思へど、
興あるものなれ。

「徒然草」

住まいが住む人に（似つかわしく）、
理想的なのは、仮の世における一時の、
住まいのすぢはないと思おけれども、
趣深いものである。

〔古文シリーズ 2ndステップ 上級〕 ことば編48 つごもり

年 組 氏名

つごもり	① 陰暦の、月の下旬
	② 陰暦の、月の最終日 みそか

【解説】

- ・十五夜の満月から月は欠け、月末には姿を隠しますね。その様子を「月がこもっている→「月籠もり（月がこもって隠れる）」といい、縮まって「つごもり」と言うようになりました。だから、「月末」と訳します。
- ・漢字で書くと「晦日」と書きます。年末は、一年間最後の月末だから「大晦日（おおつごもり、現代ではおおみそかと読む）」といいます。
- ・ちなみに、陰暦十五夜は「望月（もちづき）」、十六日の月を「十六夜（いざよい）」、十七日の月は、「立待月（たちまちづき）」、十八日の月を「居待月（いまちづき）」、十九日の月を、「寝待月（ねまちづき）」といいます。

<p>3</p> <p>神無月の、つごもりがた、 菊の花うつろひ盛りなるに…</p> <p>〔伊勢物語〕</p>	<p>2</p> <p>つごもりの夜、いたうくらきに、 松どもともして…</p> <p>〔徒然草〕</p>	<p>1</p> <p>三月のつごもりなれば、京の花、 盛りはみな杉にけり。</p> <p>〔源氏物語〕</p>	<p>【問題】</p> <p>「つごもり」の意味を参考に、（ ）にあてはまる言葉を答えなさい。</p> <p>《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
<p>陰暦十月の（ ）に 美しくさがり色で ありして、</p> <p>（ ）ごろ、</p>	<p>《現》</p>	<p>陰暦三月の（ ）に 盛りの「桜の花は 残らず、過ぎてしま った。」</p> <p>（ ）なので、</p>	

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編48 つごもり

年 組 氏名

つごもり	① 〈陰暦の、月の下旬〉 下旬 月末
	② 〈陰暦の、月の最終日〉 みそか

【解説】

- ・十五夜の満月から月は欠け、月末には姿を隠しますね。その様子を「月がこもっている→「月籠もり（月がこもって隠れる）」といい、縮まって「つごもり」と言うようになりました。だから、「月末」と訳します。
- ・漢字で書くと「晦日」と書きます。年末は、一年間最後の月末だから「大晦日（おおつごもり、現代ではおおみそかと読む）」といいます。
- ・ちなみに、陰暦十五夜は「望月（もちづき）」、十六日の月を「十六夜（いざよい）」十七日の月は、「立待月（たちまちづき）」、十八日の月を「居待月（いまちづき）」十九日の月を、「寝待月（ねまちづき）」といいます。

【解答】

1 三月のつごもりなれば、京の花、盛りはみな杉にけり。

〔源氏物語〕

陰暦三月の（下旬）なので、京の（桜の）花は過ぎてしまった。盛りは残らず、

2 つごもりの夜、いたうくらきに、松どもともして…

〔徒然草〕

みそかの夜、たいそう暗い時に、松明（たいまつ）を灯して…

3 神無月の、つごもりがた、菊の花うつろひ盛りなるに…

〔伊勢物語〕

陰暦十月の（下旬）ごろ、美聞のさがりであるうえに…

〔古文シリーズ 2ndステップ 上級〕 ことば編49 まかる

年 組 氏名

まかる	① 退出する (おいとまする)
	② 都から地方に下る
	③ 参る (参上する)
	④ 死ぬ (みまかる)

【解説】

- ・「まかる」は、出発点を高める謙譲語です。
- ・例えば、身分の高い人のもとから自宅へ、都から地方へ、この世からあの世へなど尊ぶべき場所から退出することを意味します。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「ま、かるがると、退出するよ。」

<p>3 人のもとにまかれりける夜 人のところに() 夜…</p> <p>〔古今和歌集〕</p>	<p>2 妻なるものもまかりしと見えて… 妻である人も() と見えて…</p> <p>〔雨月物語〕</p>	<p>1 憶良らは今はまからむ 子泣くらむ それその母も 吾を待つらむそ</p> <p>〔万葉集〕</p>	<p>《現》</p>	<p>【問題】 「まかる」の意味を参考に、() にあてはまる言葉を答えなさい。 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
---	--	---	------------	---

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編49 まかる

年 組 氏名

まかる	① 退出する（おいとまする）
	② 都から地方に下る
	③ 参る（参上する）
	④ 死ぬ（みまかる）

【解説】

- ・「まかる」は、出発点を高める謙譲語です。
- ・例えば、身分の高い人のもとから自宅へ、都から地方へ、この世からあの世へなど尊ぶべき場所から退出することを意味します。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「ま、かるがると、退出するよ。」

【解答】

1 憶良らは今はまからむ子泣くらむ
それその母も吾を待つらむそ
〔万葉集〕

憶良「私」はもう退出します。
子どもが泣いていて、
その子の母「私の妻」も
私を待っているでしょう。

2 妻なるものもまかりしと見えて…

〔雨月物語〕

妻である人も（死んだ）と見えて…

3 人のもとにまかれりける夜

〔古今和歌集〕

人のところに（参上した）夜…

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編50 やはら

年 組 氏名

やはら	① そっと
	② 静かに

【解説】

- ・現代仮名遣いでは「やわら」です。
- ・物音をたてないように、そろそろと静かに動く様子をあらわします。
- ・「やをら」と意味は同じです。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「やわらかい、しずかちゃんの手を、そっとにぎる。」

<p>3</p> <p>それも、やはら引き上げ入るは さらに鳴らず。</p> <p>それ(すだれ)も、(引き上げるならば、少しも音がしない)。</p> <p>〔枕草子〕</p>	<p>2</p> <p>《現》</p> <p>この児、さめざめ泣きけるを見て、 僧のやはら寄りて…</p> <p>〔宇治拾遺物語〕</p>	<p>1</p> <p>妻戸を、やはら かい放つ音すなり。</p> <p>〔堤中納言物語〕</p> <p>妻戸(両開きの板戸)を、 ()、開け放つ音がきこえる。</p>	<p>【問題】</p> <p>「やはら」の意味を参考に、() に あてはまる言葉を答えなさい。 《現》とあるものは全体を現代語に直しなさい。</p>
--	---	---	---

[古文シリーズ 2ndステップ 上級] ことば編50 やはら

年 組 氏名

やはら	① そっと
	② 静かに

【解説】

- ・現代仮名遣いでは「やわら」です。
- ・物音をたてないように、そろそろと静かに動く様子をあらわします。
- ・「やをら」と意味は同じです。

<楽しみながら覚えよう!>

- ・「やわらかい、しずかちゃんの手を、そっとにぎる。」

【解答】

1 妻戸を、やはら かい放つ音すなり。

〔堤中納言物語〕

妻戸（両開きの板戸）を、
（静かに）、開け放つ音がきこえる。2 この児、さめざめ泣きけるを見て、
僧のやはら寄りて：

〔宇治拾遺物語〕

この子が、さめざめ泣いているのを見て、
僧がそっと近寄って3 それも、やをら引き上げ入るは
さらに鳴らず。

〔枕草子〕

それ（すだれ）も、（そっと）
引き上げるならば、少しも音がしない。

※意味を思い浮かべながら、古文の音読練習を繰り返しましょう。